

2022年度  
関西社協コミュニティワーカー協会  
総会議案書

とき：2022年8月28日（日）14：00～  
ところ：大阪市社会福祉研修・情報センター  
ウェルおおさか5階 大会議室

※ZOOM併用で実施

関西社協コミュニティワーカー協会



## 2021年度 事業報告（案）

### 2021年度を振り返って

この振り返りの校正を行っているまさに今、東北北信越地方を中心に全国各地で豪雨水害が起こっています。日々刻一刻と変わる状況の中、全国各地の社協の仲間が奮闘をされていることと推察します。決して非常時だけが社協の仕事ではありませんが、このような非常時に大きな役割を持つこともまた社協の大きな使命と考えます。各地で同時多発的に災害が起こっているこのような状況であるからこそ、全国各地につながりをもつ関西社協コミュニティワーカー協会としても「今できること」を考えられればと思います。

この1年間も新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着く状況は訪れず、このような状況でもエッセンシャルワーカーである私たち社会福祉協議会の職員は、翻弄されながらも諦めず、住民に寄り添いながら地域福祉の推進に向けて取組んできました。

そのような中、2020年から延期していた第20回全国社協職員のつどいが開催できたことは私たちにとって諦めず取り組んできた仲間たちと交流、共有、共感しあうことができ、「明日へのエナジー」へとかわりました。あらためて私たち自身が「つながることの大切さ」を実感できた機会になったかと思います。また、実行委員会を第20回の記念大会と位置づけ近畿2府4県で組織し、全実行委員が一度も対面することなくオンラインを中心に準備から開催までたどり着けたことは、コロナ禍の新たな組織運営のあり方にも影響を与えることとなりました。

また、つどいでは、関コミプロジェクト企画として一つの分科会を担い「特例貸付から地域福祉の実践」をテーマに、昨年度実施した「特例貸付に関する社協職員アンケート」報告書をきっかけに、「コロナ禍におけるマネジメント研究会」を立ち上げ、また「地域福祉実践共有アンケート」を実施し、社協ワーカーの想いを深めることができました。これらの取組を通じて、会員とともに活動を生み出すことができたと考えています。

特例貸付に関する緊急アンケート報告書の結果がメディア等で取り上げていただく機会も増え、世の中から関コミの活動に目を向けてもらう機会が増えました。

このような経過もあり、全国の社協ワーカーに向けて、社会に向けて発信していく体制づくりを目指し、ホームページの開設に向けた協議を始めています。

制限されることも増える世の中ですが、一つ一つの事業に対する想い・狙いを再確認しながら形を変えながら取組む、「今できること」「今だからこそ行うこと」に向き合う姿勢であります。

### 事業内容

#### 1. 総会の開催

##### （1）定期総会

とき 2021年8月22日（日）14：00～15：00

開催方法 ZOOMによるオンライン開催

参加者 会員 25名（委任状 22名）

内 容 ○2020年度事業報告・決算（案）について

○2021年度事業計画・予算（案）について

○役員改選について

## 2. 会員の学習と交流

### (1) 会員のつどいの開催

#### ① 第65回会員のつどい

とき 2021年8月22日（日）15：00～16：30

開催方法 ZOOMによるオンライン開催

参加者 会員 25名

内容 「コロナ特例貸付と緊急アンケートの報告について」

・アンケートを通して考えたこと

・コロマネ研（コロナ禍におけるマネジメント研究会）の提案

#### ② 新人・若手職員のつどい

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

### 3. 各府県を単位とした活動の展開

#### （京都府）

##### ○京都「社協を語る会」

京都の社協ワーカーのネットワークづくりとして、社協ワーカーの実践報告の場や交流企画に取組んでいます。今年度は、「社協ワーカーのつながりを深掘り」をテーマに、市町村社協・府社協職員から、それぞれが社協に入職するまでのヒストリー、どのようなことを社協ワーカーとして大切にしているのか、二人の接点、業務上での連携について報告し、社協ワーカーのつながりの大切さについて参加者で再認識できるオンライン交流会を行いました。

##### ○京都「JRD」

今年度の活動はありませんでした。

#### （滋賀県）

滋賀県内の社協メンバーは、全国のつどい第6分科会の運営に14名が参画しました。そして、滋賀県チームは、つどいの準備を進める中で、滋賀県内の社協職員の自主研修会のプラットフォームづくりを戦略的ゴールに設定しました。第20回のつどいは、滋賀県のチームにとっては、キックオフミーティングになりました。ここからが再スタートです。滋賀県チームが、1年後の自主研修会のプラットフォームづくりに向けて、2023年1月には、途中経過の報告会を予定しています。報告会は、第6分科会の同窓会を兼ねています。妄想を実現するために、ボチボチやっていきます。

#### （大阪府）

##### ○関西社協コミュニティワーカー協会大阪研究部会

8月に総会を開催し、新型コロナ対策等の各社協の取組みや特例貸付の現状など、コロナ禍における社協事業についてワーカーの率直な想いを話し合いました。

11月にはオンラインを活用した定例会を開催し、「コロナ禍での地域アプローチ」をテーマに、会員からの話題提供をもとに、緊急事態宣言解除後、あるいは宣言中の地域活動の進め方を会員同士で意見を交わしながら社協の取組みを共有しました。

##### ○泉州+社協ワーカー勉強会

月1回の定例会で「若手プロフェッショナル」「事例検討」「実践深め」「ゲストスピーカー」、夏季には「合宿」を行っています。2021年度は、コロナ禍の学びの機会を模索し、Zoomアカウントを取得し、オンライン（ハイブリッド）開催にて、合計10回実施しました。毎年恒例の夏合宿は、宮城県「ゆいっこの会」のメンバーをゲストに、実践交流会をリモート開催しました。

第20回全国社協職員のつどいに、関コミ大阪・泉州+のそれぞれの会員が事務局・実行委員等に関わり、企画・運営に協力しました。

### (奈良県)

ここ数年、自主研究会の立ち上げやあり方等について、具体的な取り組みには至っていません。「第20回全国社協職員のつどい」では、奈良担当分科会やカレンダー作成に向けて、様々な気づきがありましたが、県内の若手職員など参画するワーカーの拡充を進めていく必要性を感じました。今後、自主研究会も含めた県内社協ワーカーのネットワークについて、少しづつでも検討できたらと考えています。

### (兵庫県)

近年、市町社協には多職種の新しい職員が入局し、職員同士のつながりづくりや社協マインドの伝承が求められる中、「第20回全国社協職員のつどい」の開催に向けて、市町社協の若手～中堅職員を中心に実行委員として参画し、オンラインを活用しつつ、担当分科会の成功に向けた話し合いを続けてきました。また、県内の参加を広げるため、県社協からも参加勧奨を行いました。まずは全国のつどいや関コミへの関心を高め、参加してもらい、つながりを広げるとともに、先輩ワーカーからしっかりと社協マインドを学べる機会になるよう準備をします。さらに、この取組みが単発で終わらないよう、県内での今後の取り組みを有志のワーカーで話し合いたいと思います。

### (和歌山県)

わかやま社協ワーカー自主勉強会は、偶数月の第4金曜日を定例として、出入り自由のスタイルです。定期開催の勉強会はできませんでしたが、第20回全国社協職員のつどいの分科会を勉強会メンバーを中心に企画・運営しました。今後は、分科会の準備を通じて新たに仲間になったワーカー達とともに、オンラインを活用しつつ定期開催を再開したいと思います。

## 4. 研究活動の展開

### ①コロナ禍におけるマネジメント研究会（通称「コロマネ研」）

関西社協コミュニティワーカー協会では、2021年度の会員のつどい、特例貸付フォーラムに参加された会員を中心に「コロナ禍におけるマネジメント研究会（コロマネ研）」を立ち上げました。キックオフミーティングでは、「特例貸付がはじまってから、職員が退職してしまった」「社協内の体制強化が上手くいかなかった」「管理職として、社協の組織マネジメントを学ぶ機会がない」「管理職としてのロールモデルがない」などのメンバーの困りごとを共有し、研究会の方向性・ルールを組み立てました。

コロマネ研では、毎回、2本の報告と、意見交換を通して、全員が主体的に学んでいます。開催は、オンラインを利用し、毎月第3水曜日、19時～20時半とされています。参加者全員が、ミニチームをつくり、毎回研究会を運営する自主的な研究会として進めています。皆さまのご参加をお待ちしています。

	開催日	2021/10/20	参加者数	12人	
1	報告1	門真市社協	藤江 冬人	時代を超えたマネジメントの理論	
	報告2	兵庫県社協	荻田 藍子	「兵庫県社協設置 社協マネジメント研究会」で見えたこと－社協マネジメントノート制作の過程より－	
	司会	兵庫県社協	高橋 俊行	※ 報告1 知って得する情報マネジメント情報	
	記録	大津市社協	山口 浩次	報告2 ふむふむタイム(実践報告)	
2	開催日	2021/11/17	参加者数	11人	
	報告1	堺市社協	守屋 紀雄	世の中にマネジメントという言葉が溢れすぎて、余計に頭が混乱したので、一度空っぽにして、自分の言葉で「マネジメント」を定義してみました。 ～「下からマネジメント」の仮説設定～	

	報告 2	高槻市社協	山田 真司	コロナ禍での高槻市社協の出来事	
	司 会	有田市社協	宮本 朋子	※ 報告 1 知って得する情報マネジメント情報	
	記 録	兵庫県社協	荻田 藍子	報告 2 ふむふむタイム(実践報告)	
3	開催日	2021/12/15	参加者数	14 人	
	報告 1	京都府社協	黒田 昌一	高校野球監督から学ぶチーム(組織)作り	
	報告 2	奈良市社協	後藤 文造	しくじり先生 俺みたいになるな!! THE 突破ファイル! その時のマネジメント	
	司 会	向日市社協	木下 博史	※ 報告 1 知って得する情報マネジメント情報	
	記 録	堺市社協	守屋 紀雄	報告 2 ふむふむタイム(実践報告)	
4	開催日	2022/1/19	参加者数	15 人	
	報告 1	奈良県社協	前坂 良彦 浅井 智子	知って得する情報マネジメント情報	
	報告 2	有田川町社協	谷口 友紀	あの時どうすれば… 10年目の振り返り	
	司 会	門真市社協	藤江 冬人	※ 報告 1 知って得する情報マネジメント情報	
	記 録	門真市社協	藤江 冬人	報告 2 ふむふむタイム(実践報告)	
5	開催日	2022/2/16	参加者数	13 人	ゲスト 関西学院大学 藤井 博志
	報告 1	洲本市社協	東 祐樹	ミドルマネージャーの苦悩 ～前進していくための下からのマネジメント～	
	報告 2	泉佐野市社協	納田かおり	事務局長 1年目のチャレンジ	
	司 会	大津市社協	山口 浩次	※ 報告 1・2	
	記 録	兵庫県社協	長谷川哲也		
6	開催日	2022/3/16	参加者数	15 人	
	意見 1	15 名		各自の振り返り発表+意見出し	
	意見 2	15 名		研究会をより面白くするためにできること	
	司 会	兵庫県社協	高橋 俊行	振り返り会として開催	
	記 録	大津市社協	山口 浩次	事前に各自が振り返りレポートを提出して協議	
7	開催日	2022/4/20	参加者数	13 人	
	講義	関西学院大学 藤井 博志		「地域福祉の持続的な開発を可能にする社協組織マネジメントの課題—『地域福祉実践組織』+『社協』としての課題—」	
	司 会	兵庫県社協	荻田 藍子		
	記 録	門真市社協	藤江 冬人		
8	開催日	2022/5/18	参加者数	15 人	
	ミニ 報告	兵庫県社協	高橋 俊行	「関コミ発! コロナ禍で生まれた地域福祉実践共有アンケートからのアクション」	
	報告	大津市社協	山口 浩次	「大津市社協のマネジメント実践パート1～中間マネジャーを活かすマネジメント～」	

	司 会	兵庫県社協	荻田 藍子	※ ミニ報告と実践報告	
	記 録	奈良県社協	浅井 智子		
9	開催日	2022/6/15	参加者数	13 人	
	報告 1	有田市社協	宮本 朋子	「等身大の報告 宮本はそんなに自由に見えるのか?~理論知らずで悩んでいるぞう~」	
	報告 2	堺市社協	守屋 紀雄	「80万都市の“下からマネジメント”実践レポート~10年後の社協像が見えず悩んでるぞう~」	
	司 会	高槻市社協	山田 真司	※ 実践報告 1 と 実践報告 2	
	記 録	洲本市社協	東 祐樹		
10	開催日	2022/7/20	参加者数	16 人	初参加 西宮社協 音川さん
	報告 1	すさみ町社協	地本 達行	「高齢化率 50%弱の町～プロパー局長の足跡～」	
	報告 2	京都府社協	黒田 昌一	「京都府社協 市町村社協新任職員を開催させるまで」	
	司 会	奈良市社協	後藤 文造	※ 実践報告 1 と 実践報告 2	
	記 録	奈良市社協	後藤 文造		
11	開催日	2022/8/17	参加者数	16 人	
	リレートーク	兵庫県社協 奈良県社協 奈良県社協 有田川町社協	高橋 俊行 前坂 良彦 浅井 智子 谷口 友紀	「社協ワーカー人生を振り返り、影響を受けた人や出来事とともに、その裏にあるワーカーとしての『当事者性』を探る」	
		司 会	奈良県社協	浅井 智子	※ 4人でリレートーク
	記 録	有田市社協	宮本 朋子		

## ②コロナ禍で新たに生まれた地域福祉実践共有アンケート

コロナ特例貸付に翻弄された全国の社会福祉協議会でしたが、コロナ禍の中で新たに生まれ、またプラスアップした社協活動・地域福祉の取り組みがたくさん生み出されたことも事実です。関コミとして、一人ひとりのワーカーの声が全国の社協ワーカーの力となることを信じて、全国から「コロナ禍で新たに生まれた地域福祉実践」を集め、共有するためアンケートを実施しました。アンケートの実施については、9人のワーカーと2人の研究者が中心にプロジェクトチームを結成し、2022年4月1日から7月31日までの期間において、Googleフォームにて受け付けました。結果、全国から120を超える実践事例が集まりました。

Googleフォームに寄せられた地域福祉実践は、関コミブログでも途中経過を確認できるように、共有viewにて確認できるように取り組んでいます。

フードバンクの取り組みから、外国籍の方への支援、子ども支援など、各社協が従来から培った地域福祉活動を活かしながら、コロナ禍の新たな課題に対処するため、地域性や既存のネットワークを活かした多様な取り組みが集まっています。

次年度は、このアンケートの分析から関コミとしての発信につなげていきたいと考えます。

## 5. 情報の発信

### (1) YELLの発行

令和2年11月の総会以降、新型コロナウイルスの影響で思うように事業が実施できない状況下、YELLの発行もできませんでした。今年度実施した「全国社協職員のつどい」の開催をYELLに載せ、会員に届けられるよう、取り組んでいきたいと考えます。

\*紙媒体による発行方法など検討が必要

## (2) ブログやフェイスブックを活用した情報発信等

会員への情報提供や、会員相互の声を交流するツールとして、ブログならびに Facebook ページを活用し、「総会」や「会員のつどい」などの案内や、その内容報告についての情報発信を行いました。

また、「第 20 回社協職員のつどい」オンライン開催にあたり、連携して情報の発信に努めました。

ブログ : <http://blog.canpan.info/kancomi/>  
Facebook ページ : <https://www.facebook.com/Kansai.SWC.CW.Society/>  
(2022 年 7 月末現在 228 名がフォロー中)

## (3) Zoom を活用したオンラインでの総会、研修等の開催

コロナ禍、府県をまたぐ集まりの実施が難しいことを受け、Zoom の有料アカウントを利用し、総会、役員会、つどい、勉強会等を実施しました（述べ 57 回）。オンライン会議やオンラインと会場のハイブリッド形式の会議を実施するなど、集まりづらい中でも円滑に運営、事業実施ができる体制を整えました。

## 6. 全国組織化に向けた取り組み

### 第 20 回全国社協職員のつどいに開催に向けた取り組み

第 20 回全国社協職員のつどいは、2020 年 3 月 7 日～8 日に大阪堺市での開催にむけて、準備を進めてきましたが、開催日が迫った 2 月 20 日に実行委員会と関コミ役員と合同の緊急会議を開催し、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑みて「開催延期」としました。

このたび、記念大会と位置づけ、近畿 2 府 4 県の社協職員による合同実行委員会を再結成し、議論を重ね、コロナ禍により延期しオンライン開催となったが、テーマ・目的は変えず、オンラインデマンド動画配信を取り入れ、当日は、全国の社協職員約 360 名の参加を得、分科会や全体会を通して課題や問題意識を共有しました。社協職員がオンラインでつながり、大会テーマの「社協職員のエナジー」「私が磨く〇〇力」について語り合い、仲間づくりとミライへのつながりを深めることができました。



#### ■ 大会テーマ

「わたしたちが磨く！〇〇のチカラ ~社協職員のエナジーとは！？~」

■ 開催日時：令和 4 年 7 月 17 日（日）12:30～17:00

■ 開催方法：オンライン開催（当日オンライン参加・オンラインデマンド動画配信）

■ 参加者数：353 名（参加費納入）+ 講師・登壇者 16 名 = 合計 369 名

■ 実行委員会：近畿 2 府 4 県合同実行委員会／実行委員・企画メンバー 計 102 名

#### ■ 実施状況：

■ 開催内容（プログラム）

= オンデマンド動画配信 =

《全体会 1》エナジートーク「社協職員のエナジーとは！？」

= 当日オンライン =

《オープニング》12:30～12:55

・ 開催あいさつ：つどい実行委員長／納田かおり、関コミ会長／高橋俊行

・ スピンオフ企画①：つどいキャラクター名前発表「ななレオン」

・ スピンオフ企画②：全国社協ワーカー「日めくりカレンダー」

- ・スピンオフ企画③：スピンオフ動画「わたしたちが磨く！広報のチカラ」（オンデマンド配信）
- 《分科会》13:00～16:00
- ・第1分科会：対話力×協働=共生【奈良】
  - ・第2分科会：コミュニティ×話し合う場づくり=住民主体【大阪】
  - ・第3分科会：田舎～田舎の事情を自乗する～【和歌山】
  - ・第4分科会：地域一社協=?/?【京都】
  - ・第5分科会：創造×開発=創発【兵庫】
  - ・第6分科会：福祉学習×仲間=福祉樂集【滋賀】
  - ・第7分科会：若手×つながる=OMOROI【6府県合同】
  - ・第8分科会：関コミプロジェクト企画【関コミプロジェクト】
- 《全体会2》16:10～17:00
- ・分科会報告：各分科会より「わたしが磨く〇〇のチカラ・〇〇力」
  - ・ミライトーク：府県代表者「わたしたちが磨く！〇〇のチカラ」
  - ・クロージング：記念撮影「みんなでヤー！！」
- 後援：滋賀県社協・京都府社協・京都市社協・兵庫県社協・神戸市社協・奈良県社協・和歌山県社協・大阪府社協・大阪市社協・堺市社協

## 7. 組織・財政活動の改善の検討

会員への案内や情報提供を円滑かつ迅速に行うため、メールアドレスの登録を進め、メールによる案内の運用を始めました。未登録の会員へは、引き続き登録を働きかけます。また、情報発信の面では、将来的に関コミとしてのホームページを立ち上げられないかも協議しました。

組織・財政活動の改善に関しては、事務局機能の見直し、資料のクラウド管理、役員や事務局員の負担軽減などの検討を役員会で重ねています。

関コミが活動する上では、見えないところで活動を支える事務局機能は不可欠ですが、特定の府県にその役割が固定化しないよう、役員会で話し合いました。

財政活動としては、会費収入が活動の基盤になっていることを踏まえ、会費の納入率アップにつながる呼びかけを、役員メンバーが中心になって会員に働きかけています。

今後も、これら組織・財政活動の改善を念頭に入れながら、関コミが自主研究組織として、会員一人一人の参画意識が高められるような活動を目指します。

## 8. 被災地社協への支援

各地で自然災害が頻発している状況を鑑み、被災地及び被災地の社協ワーカーを支援するための資金を平素から蓄え、迅速な対応ができるよう「災害支援金」の受入口座を2020年2月から常設化しています。あらためて、会員に対しての受入口座の周知等に努めます。

## 9. 監事会の開催

とき 2022年 8月 25日(木)

ところ 本年度は対面ではなく、書面確認及びメールでの質疑にて実施しました。

参加者 監事、会長、副会長、事務局

内容 2021年度事業および会計監査

## 10. 役員会の開催

回	開催月日	開催場所	参加人数
第1回	9／25	(オンライン)	15人
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会および会員のつどいの振り返りについて</li> <li>・今期の役割分担</li> <li>・アンケート報告書の発送等</li> <li>・社協マネジメント研究会の動き（構想）について</li> <li>・事務局機能の分散について（議案集約・日程調整・ZOOM アカウント管理・会議録等の輪番・災害支援口座の管理等）</li> </ul>		
第2回	11／7	(オンライン)	11人
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国社協職員のつどいについて</li> <li>・社協マネジメント研究会について</li> <li>・オンラインミーティングについて</li> <li>・ホームページの運用について</li> </ul>		
第3回	1／23	(オンライン)	14人
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国社協職員のつどいについて</li> <li>・関コミオンラインミーティングの報告、今後の開催について</li> <li>・関コミホームページの検討について</li> <li>・新たな取り組み提案について</li> <li>・事務局の在り方について</li> <li>・会員メールアドレスの収集状況とこれからの案内方法について</li> <li>・会員のつどいの企画について</li> <li>・アンケート報告書の打ち上げ報告と今後の取扱いについて</li> <li>・日本地域福祉学会のシンポジウムへの参加について</li> <li>・コロマネ研の活動状況</li> </ul>		
第4回	3／26	(オンライン)	7人
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国社協職員のつどいについて</li> <li>・新たな取り組み提案について</li> <li>・会員のつどいの企画について</li> <li>・関コミオンラインサロンについて</li> <li>・関コミホームページについて</li> <li>・メールアドレスの取得による情報発信について</li> <li>・会計事務について</li> <li>・コロマネ研の活動状況</li> <li>・1000人アンケート報告書について</li> </ul>		
第5回	5／29	(参集及びオンラインのハイブリッド)	13人 参集：4人 オンライン：9人
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国社協職員のつどいについて</li> <li>・総会の日程・開催方法等について</li> <li>・次期役員の候補について</li> <li>・ホームページの取組状況</li> <li>・新人ワーカーのつどいの企画状況</li> <li>・新規プロジェクトについて</li> <li>・事務局機能（会員管理・会計業務）の今後について</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロマネ研の活動状況</li> <li>・オンラインサロンの実施状況</li> </ul>		
	8／14	(オンライン)	12人
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会について</li> <li>・会員のつどいについて</li> <li>・次期役員の候補者について</li> <li>・次期事務局体制について</li> <li>・幹事会の日程について</li> <li>・全国社協職員のつどいの報告</li> <li>・コロマネ研の活動状況報告</li> <li>・オンラインサロンの実施状況</li> <li>・地域福祉実践共有アンケートの提出状況</li> <li>・ホームページの取組状況</li> </ul>		

**関西社協コミュニティワーカー協会**  
**一般会計**  
**2021年度決算書(案)**

別紙①

2021.7.1～2022.6.30

(収入の部) (単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減	備考
入会金	2,500	1,500	△ 1,000	@500円×3名
会費	348,000	288,000	△ 60,000	@3,000円×55名 165,000円 @6,000円×4名 24,000円 @9,000円×11名 99,000円
事業費収入	10,000	119,840	109,840	原稿執筆料、公的扶助研究会報告謝金、特例貸付アンケート報告(売上代金の一部の振込)
寄付金	1,000	0	△ 1,000	
雑収入	100	9	△ 91	預金利息
繰越金	1,327,102	1,327,102	0	前年度決算繰越金
合計	1,688,702	1,736,451	47,749	

(支出の部) (単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減	備考
事業費	350,000	297,500	△ 52,500	・会員のつどい等事業費
会場費	85,000	14,440	△ 70,560	・特例貸付報告冊子購入費 ・新入ワーカーのつどい、役員会の会場費
会議費	3,000	908	△ 2,092	総会監査資料の送料
助成費	120,000	100,000	△ 20,000	5/18全国社協職員のつどい会計(関コミ大阪会計へ)
印刷費	50,000	0	△ 50,000	
通信運搬費	180,000	139,820	△ 40,180	総会案内、会費請求、特例貸付報告冊子の送付郵送料、WEB会議システム等
旅費	70,000	4,020	△ 65,980	役員交通費補助
消耗品費	25,000	2,532	△ 22,468	事務用品(封筒)購入費
災害見舞金	25,000	0	△ 25,000	
雑費	30,000	9,075	△ 20,925	振込手数料、振替通知料金等
予備費	750,702	0	△ 750,702	
合計	1,688,702	568,295	△ 1,120,407	

収入額	1,736,451
支出額	568,295
差額	1,168,156

翌年度へ繰越し

関西社協コミュニティワーカー協会  
全国組織化特別会計  
2021年度決算書(案)

別紙②

2021.7.1～2022.6.30

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減	備考
事業費収入	0	0	0	
寄付金	1,000	0	△ 1,000	
雑収入	100	2	△ 98	預金利息等
繰越金	310,219	310,219	0	前年度決算繰越金
合計	311,319	310,221	△ 1,098	

(支出の部)

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減	備考
事業費	100,000	100,000	0	全国社協職員のつどい会計(関 コミ大阪)事業費
旅費	3,000	0	△ 3,000	
雑費	1,000	770	△ 230	振込手数料
予備費	207,319	0	△ 207,319	
合計	311,319	100,770	△ 210,549	

収入額	310,221
支出額	100,770
差額	209,451

翌年度へ繰越し

## 監 査 報 告 書

### 1. 監査事項

2021 年度関西社協コミュニティワーカー協会実施事業及び会計監査について

### 2. 監査報告

監査の結果、事業は適正に実施され、正確に処理されていることに相違ありません。

2022年 8月 25日

関西社協コミュニティワーカー協会

監 事 武 田 知 み ゆ 印

## 監 査 報 告 書

### 1. 監査事項

2021 年度関西社協コミュニティワーカー協会実施事業及び会計監査について

### 2. 監査報告

監査の結果、事業は適正に実施され、正確に処理されていることに相違ありません。

2022年8月25日

関西社協コミュニティワーカー協会

監事 茂籠知美 

**2021年度 関西社協コミュニティワーカー協会  
役員名簿**

**【役員】**

	氏名	社協名	府県
会長	高橋 俊行	兵庫県社会福祉協議会	兵庫県
副会長	石田 豪	城陽市社会福祉協議会	京都府
副会長	前坂 良彦	奈良県社会福祉協議会	奈良県
幹事	山口 浩次	大津市社会福祉協議会	滋賀県
幹事	黒田 昌一	京都府社会福祉協議会	京都府
幹事	福富 儀夫	八幡市社会福祉協議会	京都府
幹事	永松 学	京都市社会福祉協議会	京都市
幹事	浅井 良一	大阪府社会福祉協議会	大阪府
幹事	藤江 冬人	門真市社会福祉協議会	大阪府
幹事	巽 俊朗	大阪市社会福祉協議会	大阪市
幹事	松本 裕一	兵庫県社会福祉協議会	兵庫県
幹事	長谷川 哲也	兵庫県社会福祉協議会	兵庫県
幹事	岡本 晴子	奈良県社会福祉協議会	奈良県
幹事	植村 隆弘	上牧町社会福祉協議会	奈良県
幹事	地本 達行	すさみ町社会福祉協議会	和歌山県
幹事	谷口 友紀	有田川町社会福祉協議会	和歌山県

**【監事】**

	氏名	社協名	府県
監事	武田 知記	京都府社会福祉協議会	京都府
監事	茂籠 知美	池田市社会福祉協議会	大阪府

**【事務局】**

	氏名	社協名	府県
事務局長	長谷川 哲也※	兵庫県社会福祉協議会	兵庫県
事務局	黒田 昌一※	京都府社会福祉協議会	京都府
事務局	中井 郁	兵庫県社会福祉協議会	兵庫県

事務局（※）表記は役員と兼務

## 2022年度 事業計画（案）

関西社協コミュニティワーカー協会は1994年1月に発足し、本年度で29年目を迎えます。第20回全国社協職員のつどいの全体会・分科会において関コミ歴代役員や会員から登壇いただき、発足に向けた想いを聴くことができました。このつどいを通じて「社協職員がつながり続けながら、課題と向き合い社会へ働きかける」ことが私たちのミッションであることを再認識する機会となりました。まもなく迎える30周年、そして21回目から先の全国社協職員のつどいに向け、まさに古きを知り新しきを知る。この貴重な機会を忘れることなく、温故知新の気持ちで次のステージを目指していかねばと考えます。

関コミを機能させていくためには、この会員一人一人の参画が必要だと考えています。そのため、これまで以上に会員が主体となり事業に参画できる機会を増やしていきたいと考えています。来年度は、関コミ設立30周年を迎える節目です。30周年目に向けて、改めて関コミの原点を振り返るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着く状況の中で、「今できること」「今だからこそ行うこと」を検討してきた2022年度の取り組み概要について記載します。

1. WITHコロナを意識し、遠方から集まることが難しい状況をプラスに捉え、多くの会員が参加しやすいよう、オンラインの研修・交流等の機会確保も積極的に行なながら、関コミが大切にしている「議論」を深めるためにも、参集型による「リアルな場づくり」も展開していきます。オンラインと参集型を通じて、会員外のワーカーともつながり、会の趣旨を理解し賛同してもらえる仲間を広げていきたいと考えます。
2. 関コミ設立30周年に向けて、全国の社協ワーカーへの情報発信、会員向けの資料提供などを可能とするホームページの開設に向けた取り組みを行います。
3. 会員同士のつながりの強化については、従来の新任ワーカーのつどいや各府県単位の取り組み、テーマ別等の実施によるつながり強化を目指します。また、開催方法についてもオンライン・参集型など柔軟な運営より、交流できる企画を行います。
4. 現在は、広報紙「YELL」や関コミブログ、Facebook等を活用して会員に情報を届ける取組を推進しています。今後はそれに加え、E-mailを積極的に活用することで郵送経費の圧縮を図るとともに、タイムリーな情報を発信することにより、より多くの会員や社協職員に必要な情報を届けられるよう取り組みを進めます。※ホームページ運用に向けて、広報媒体の整理も行っていきます。
5. 被災地社協への災害活動支援金を常時受付しており、その周知並びに発災時に迅速に活動支援金や見舞金などの支援を行えるよう運用していきます。
6. 会員向けのオンラインサロンを企画し、各府県単位で定例的に開催します。

従来から関コミが積み上げてきた実践の発展だけではなく、社会全体が新たな活動様式を選ばざるを得なくなった時期であることを冷静に俯瞰し、従来の手法だけにこだわるのではなく、目的達成のために柔軟に活動を広げていけるよう、検討していく一年としたいと考えます。

## 《事業計画》

### 1. 総会の開催

### 2. 会員の学習と交流

- \* 会員のつどいの開催・時事問題への対応
- \* 特例貸付が地域福祉活動（社協活動）にもたらした影響についての学習・情報交換
- \* WITH コロナでのつながりづらさを解消するためのオンライン交流会
- \* 新任ワーカーのつどいの開催

### 3. 各府県やテーマを単位とした活動の展開

- \* 府県単位で、役員が率先して、会員、会員外も含めて交流の場を構築
- \* 各府県の自主的な集まりの場などとの連携を図り、社協ワーカーが身近に集える場の創造

### 4. 研究活動の展開

- \* 住民主体による社協活動の実践の研究として、コロナ禍で生れた地域福祉実践共有アンケートの分析、報告書の作成をプロジェクトチームで実施

### 5. 情報の発信

- (1) ホームページ開設に向けた準備と運用
- (2) YELL の発行のあり方についての検討
- (3) ブログ、facebook の活用
- \* 広く関コミ活動を周知していくためのツールとして活用
- (4) メールでの各種案内発信による情報発信の効率化
- \* 会員に向けた円滑な情報発信を目指す

### 6. 全国組織化に向けた取り組み

- (1) 第21回全国社協職員のつどい大会へ向けた検討

### 7. 災害時の対応

- (1) 被災地社協への災害活動支援金の常設受付（継続）
- (2) 災害時の支援活動の検討

### 8. 組織・財政活動の改善の検討

- (1) オンライン会議ツール（ZOOM等）の活用
- \* 集まれない中でもつながりを作れる場づくり
- \* WITH コロナで安心した総会、役員会を開催できる環境づくり（ハイブリット開催）
- (2) 事務局機能の負担軽減
- \* 関コミの事務局機能を一定のサイクルで2府4県輪番で回していくための具体的ルールづくりを行う。

関西社協コミュニティワーカー協会  
一般会計  
2022年度予算書(案)

別紙③

2022.7.1～2023.6.30

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
入会金	3,000	2,500	500	@500円×6名
会費	300,000	348,000	△ 48,000	@3,000円×87名 @6,000円×5名 @9,000円×1名
事業費収入	110,000	10,000	100,000	@500×20名(事業参加費) 20回全国のつどい精算後の返金 (一般からの追加送金分)
寄付金	1,000	1,000	0	
雑収入	100	100	0	預金利息
繰越金	1,168,156	1,327,102	△ 158,946	前年度決算繰越金
合計	1,582,256	1,688,702	△ 106,446	

(支出の部)

(単位:円)

費目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
事業費	330,000	350,000	△ 20,000	・会員のつどい(新人含む)等の事業費 ・コロナ禍のマネジメント研究会、コロナ禍の地域福祉活動アンケート事業等 ・HP作成費用
会場費	80,000	85,000	△ 5,000	総会、会員のつどい、役員会等の会場費
会議費	8,000	3,000	5,000	監査に係る経費(対面実施での旅費等)
助成費	120,000	120,000	0	各府県での活動助成費
印刷費	40,000	50,000	△ 10,000	機関紙・資料等印刷代
通信運搬費	150,000	180,000	△ 30,000	文書・資料送付料、ZOOM年間利用料
旅費	60,000	70,000	△ 10,000	役員交通費補助
消耗品費	25,000	25,000	0	事務用品等購入費 リモート会議で使用する器具備品代
災害見舞金	25,000	25,000	0	見舞金(@5,000×5カ所)
雑費	30,000	30,000	0	振込手数料等
予備費	714,256	750,702	△ 36,446	
合計	1,582,256	1,688,702	△ 106,446	

TRUE

関西社協コミュニティワーカー協会  
全国組織化特別会計  
2022年度予算書(案)

別紙④

2022.7.1～2023.6.30

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
事業費収入	100,000	0	100,000	全国のつどい 精算後の全国会計への返金
寄付金	1,000	1,000	0	全国組織化に関する寄付金
雑収入	100	100	0	預金利息等
繰越金	209,451	310,219	△ 100,768	前年度決算繰越金
合計	310,551	311,319	△ 768	

(支出の部)

(単位:円)

費目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
事業費	100,000	100,000	0	全国のつどい(21回大会準備金)
旅費	3,000	3,000	0	組織化・調整関連旅費
雜費	1,000	1,000	0	振込手数料等
予備費	206,551	207,319	△ 768	
合計	310,551	311,319	△ 768	

## 関西社協コミュニティワーカー協会規約の一部改正について（案）

本会事務局の事務局長については、規約第14条第2項の規定により、「幹事の互選により選任する」とされていますが、幹事および事務局員の体制変更により、事務局員からも選任ができるよう規約の一部を改正します。

なお、改正後の規約の施行は、2022年7月1日からとします。

現行	改正（案）
(役員会) 第10条 役員会は、会長、副会長、幹事をもって構成する。	(役員会) 第10条 役員会は、会長、副会長、幹事 <u>及び事務局長</u> をもって構成する。
(事務局) 第14条 本会に事務局を置く。 2 事務局には、次の役職を置く。 事務局長 1名 会計 1名 事務局員 若干名 3 事務局長は、幹事の互選により選任する。 4 事務局員及び会計は役員会で選任する。	(事務局) 第14条 本会に事務局を置く。 2 事務局には、次の役職を置く。 事務局長 1名 会計 1名 事務局員 若干名 3 事務局長は、幹事 <u>及び事務局員</u> の互選により選任する。 4 事務局員及び会計は役員会で選任する。
(付則) 1 この規約は、1994年1月16日より施行する。 2 本会発足時の役員任期及び会計年度は、1月16日に始まり7月31日に終わる。 3 この規約は、1995年7月30日より施行する。 4 この規約は、1996年7月14日より施行する。 5 この規約は、2000年7月16日より施行する。 6 この規約は、2005年3月5日より施行する。	(付則) 1 この規約は、1994年1月16日より施行する。 2 本会発足時の役員任期及び会計年度は、1月16日に始まり7月31日に終わる。 3 この規約は、1995年7月30日より施行する。 4 この規約は、1996年7月14日より施行する。 5 この規約は、2000年7月16日より施行する。 6 この規約は、2005年3月5日より施行する。 7 <u>この規約は、2022年7月1日より施行する。</u>

## 関西社協コミュニティワーカー協会規約 改正後全文（案）

### （名 称）

第1条 本会は、関西社協コミュニティワーカー協会と称する。

### （目的及び性格）

第2条 本会は、住民主体の社協活動をめざし、地域福祉の発展・向上を図ることを目的に、社協のコミュニティワーカーとしての専門性と社会的地位の向上を高めるため、会員相互の交流・現場の声の集約、研究、政策提言を行う関西の社協職員によって構成する自主的な組織である。

### （事 業）

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 地域福祉及び社協活動、コミュニティワークに関する研究協議
- (2) ブロック単位のあるいは多様な形での会員交流
- (3) 委員会の開催
- (4) 機関紙・会報等の発行
- (5) 年1回程度の総会（交流集会）、役員会の開催
- (6) 必要に応じて、研究協議したことのアピールや、関係機関、マスコミ等への意見表明、政策提言
- (7) その他目的達成のために必要な事業

### （会 員）

第4条 会員は、正会員・賛助会員とする。

### （会員の資格）

第5条 会員は正会員・賛助会員とし、次の資格を有するものとする。

- (1) 正会員（以下、会員という。）  
本会の趣旨に賛同かる関西の社会福祉協議会職員とする。ただし、役員が承認した場合はこの限りではない。
- (2) 賛助会員  
賛助会員は、本会の趣旨に賛同し、事業を援助するものとする。

### （会 費）

第6条 入会金は500円とし、年会費は3,000円とする。

2 賛助会員は、年会費とし、3,000円とする。

3 既納会費は、返還しない。

### （総 会）

第7条 総会は、毎年1回会長が招集する。

2 会長が必要と認めたとき、また、会員の五分の一以上の請求があるときは、臨時総会を開催できる。

3 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決する。

4 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 収入支出予算及び事業計画

- (2) 事業報告及び決算の承認

- (3) 規約の改正
- (4) その他本会の運営に関する重要な事項
- (5) 議長は、総会の都度、出席会員の中から選出する

(役員)

第8条 本会に次の役員を置く。

- 会長 1名
- 副会長 若干名
- 幹事 若干名
- 監事 2名

(役員の職務)

- 第9条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
- 3 幹事は、本会事業を推進する。
- 4 監事は、事業・会計が適正に執行されるよう監査する。

(役員会)

第10条 役員会は、会長、副会長、幹事及び事務局長をもって構成する。

(役員の選任)

- 第11条 役員は総会において選任する。
- 2 監事は他の役員を兼ねることはできない。

(任期)

- 第12条 役員の任期は1年とする。ただし再任は妨げない。
- 2 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会)

- 第13条 本会に委員会を設けることができる。
- 2 委員会規則は別に定める。

(事務局)

- 第14条 本会に事務局を置く。
- 2 事務局には、次の役職を置く。
  - 事務局長 1名
  - 会計 1名
  - 事務局員 若干名
- 3 事務局長は、幹事及び事務局員の互選により選任する。
- 4 事務局員及び会計は役員会で選任する。

(経費)

第15条 本会の経費は、会費・寄付金及び事業に伴う収入、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第16条 本会の会計は、毎年7月1日に始まり、翌年6月30日に終わる。

(付則)

- 1 この規約は、1994年1月16日より施行する。

- 2 本会発足時の役員任期及び会計年度は、1月16日に始まり7月31日に終わる。
- 3 この規約は、1995年7月30日より施行する。
- 4 この規約は、1996年7月14日より施行する。
- 5 この規約は、2000年7月16日より施行する。
- 6 この規約は、2005年3月5日より施行する。
- 7 この規約は、2022年7月1日より施行する。